

御 嶽 山

○概況（平成 17 年 8 月）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○山体付近の地震活動の状況

御嶽山の山体付近が震源と推定される火山性地震は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした（図 1）。

○噴煙の状況

三岳村役場に設置した遠望カメラによると、噴煙は観測されませんでした。

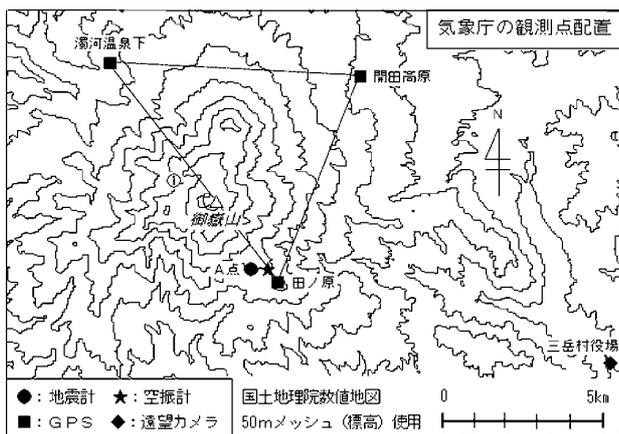


図 2 御嶽山 気象庁の観測点配置

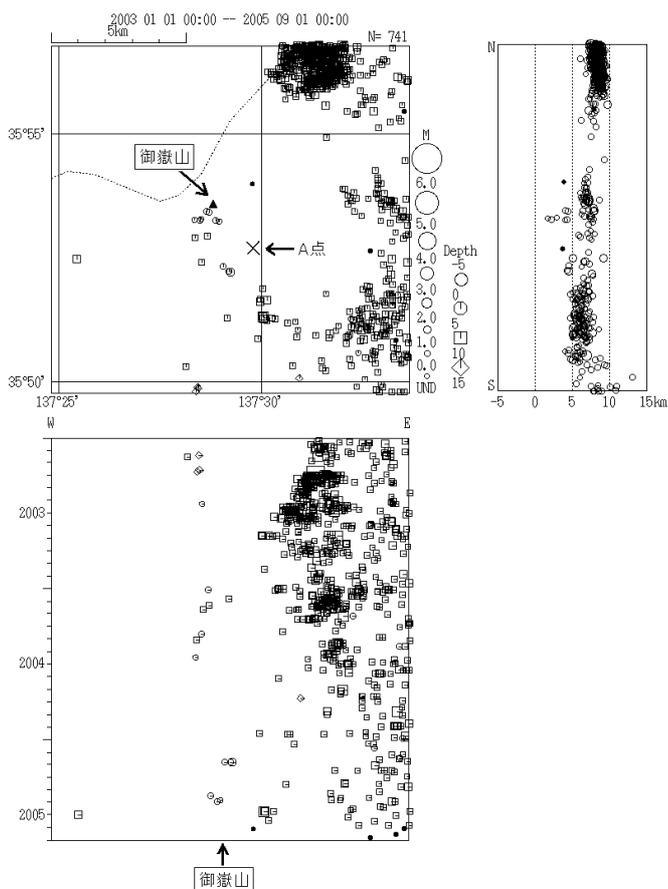


図 1 御嶽山 周辺の地震活動

(2003 年 1 月 1 日～2005 年 8 月 31 日)

上段左：震央分布 上段右：南北断面

下段：時空間分布（東西断面）

(この資料は名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所および気象庁のデータを使用しています。)

○地殻変動の状況

山麓部で実施している GPS 連続観測（図 3）や、8 月 16 日～19 日に山頂部等で実施した GPS の臨時観測（図 4、図 5）では、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした。

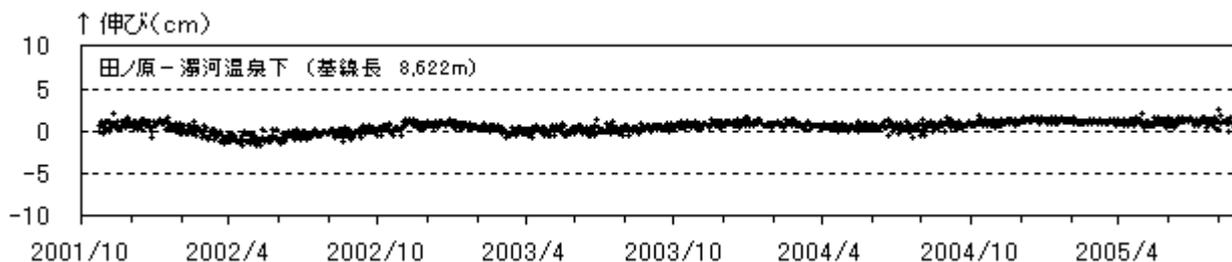


図 3 御嶽山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 10 月 23 日～2005 年 8 月 31 日）

その他の基線においても、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした。

○調査観測の結果

8月16日～19日にかけて調査観測を実施しました。

・GPS繰り返し観測

GPS繰り返し観測では火山活動に関連する変動は認められませんでした（図4、図5）。

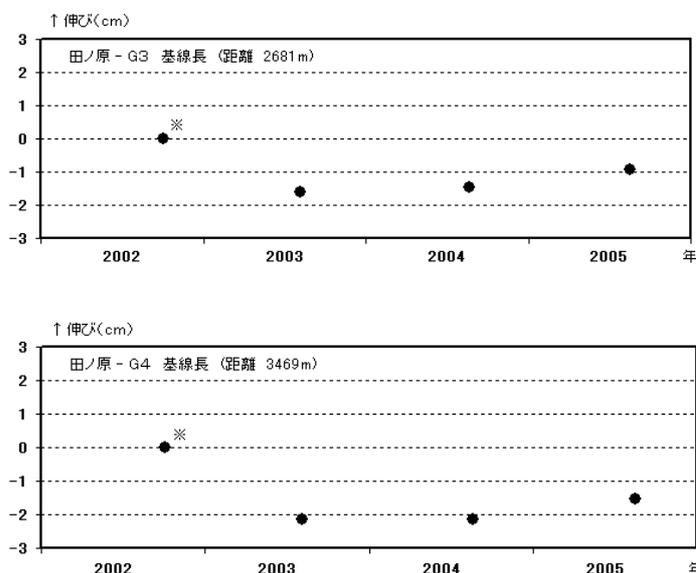


図4 御嶽山 田ノ原-No.3の基線長変化（上）、
田ノ原-No.4の基線長変化（下）
※季節変動が含まれます。

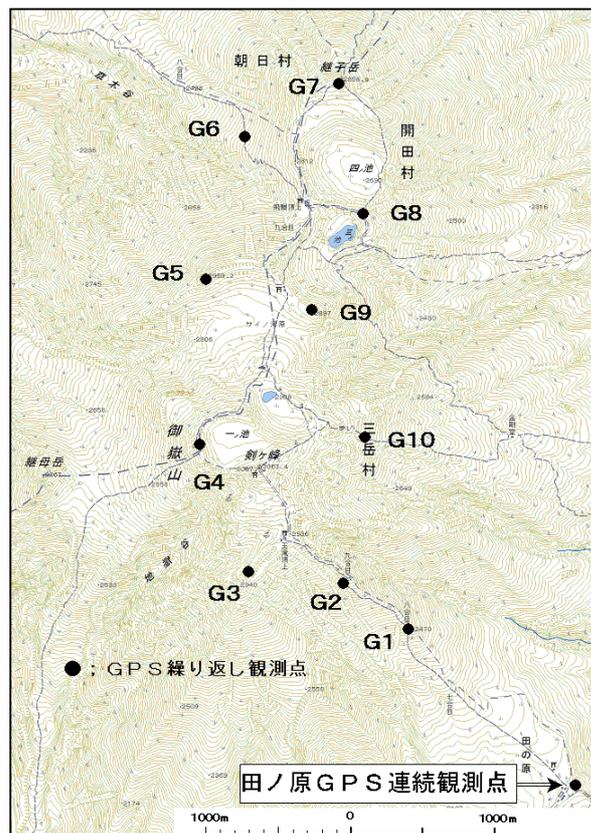


図5 GPS繰り返し観測点配置図（右）

・熱観測

御嶽山王滝頂上噴気地帯の噴気温度の最高はS-3噴気孔の92℃でした。観測開始から1990年代前半の噴気温度は120℃前後でしたが、その後は低下し最近数年間は80～100℃程度で推移しています（図6、図7）。

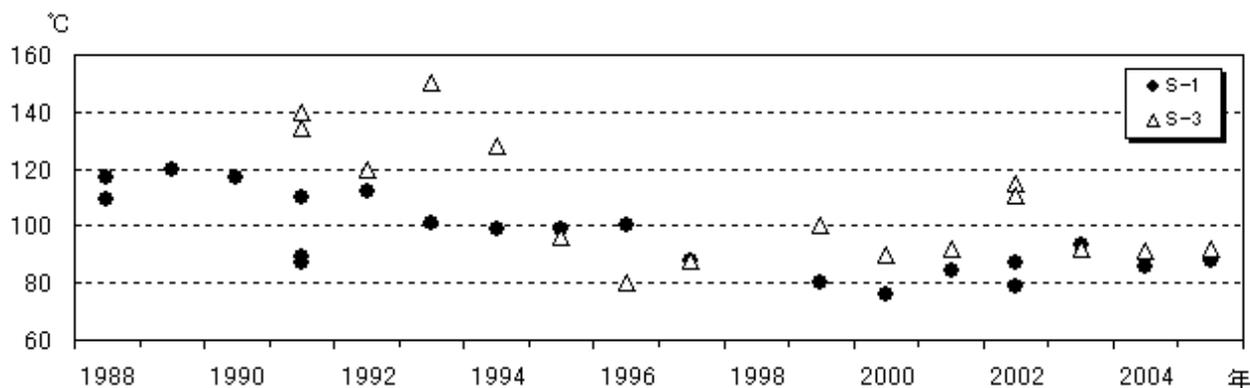


図6 御嶽山 王滝頂上噴気地帯の最高噴気温度（1988年8月～2005年8月）

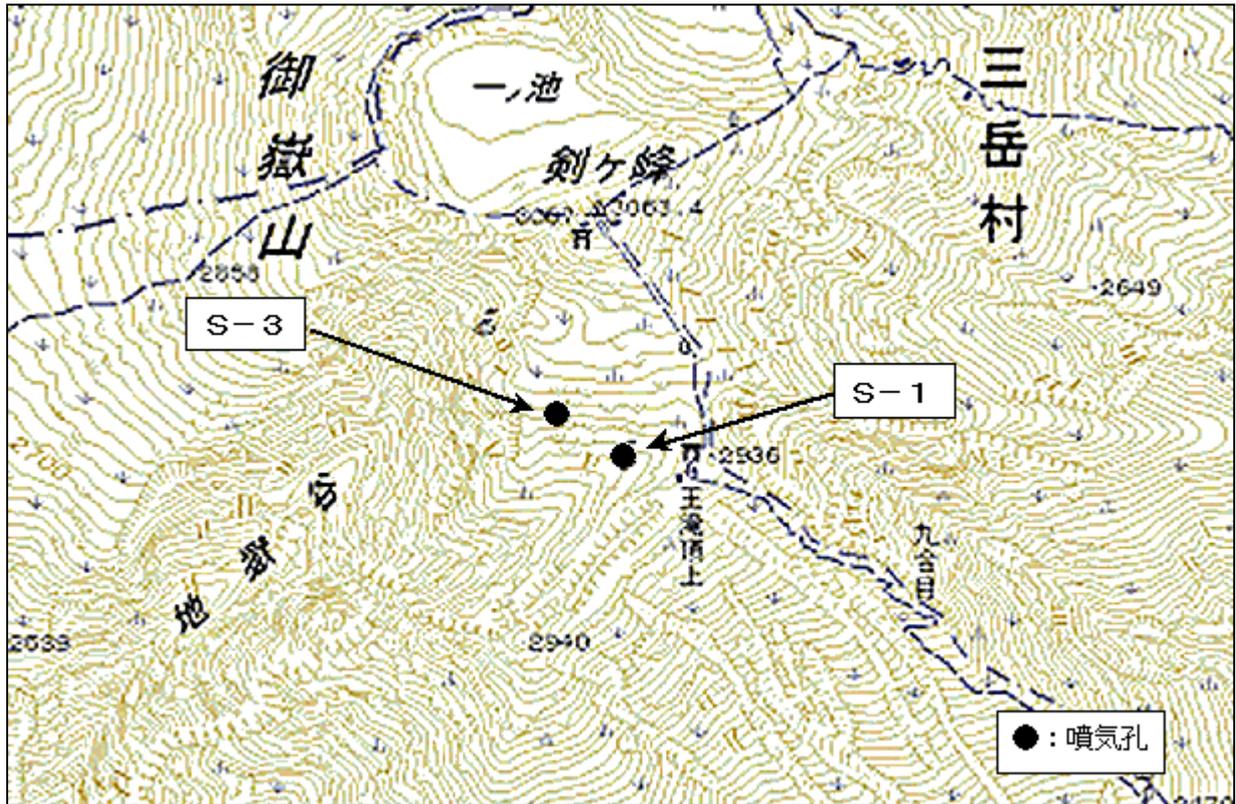


図7 御嶽山 大滝頂上噴気地帯での温度観測地点